

# 森木 からあり

# Imagin 21

「イマジン21」第18号 / 平成20年12月1日発行 (年2回 春秋発行)

# 樹 が育ち

世界遺産  
リレー連載 奈良の風景 ③

Essay 印刷文化逍遙 ⑱

特集 (二〇一〇年) 平城遷都二三〇〇年祭

まちかど  
探索 深圳 (中国)

特集 大和の酒蔵めぐり ⑥

奈良の  
伝統工芸  
古楽面

報告 (歴史と景観をつひゆく奈良)

ふれあい回廊 夢しるべ風しるべ

付録

フォントとは!?

# そして

伊能忠敬といえ、徒歩により日本地図を完成し、その技術は、当時世界的にも相当なものであったと承知していますが、盆地の「奈良」を記述の如く詳しく測量していたことは、今回はじめて知ったことでした。

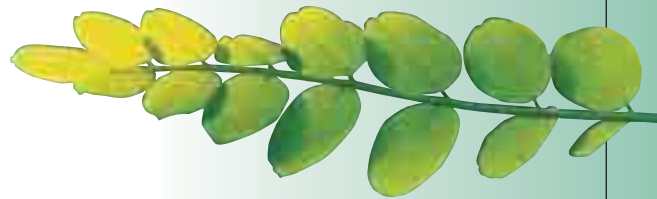
土平先生のご記述の中に（3p下段）「夜は横領村で宿泊している」とありますが、横領村は現在の横領町であると思います。その場所は弊社本社のすぐ近くであり、弊社がこの地に引越してきた頃は、周囲はほとんど田・畑でした。今は、道路の拡幅工事が行われ平城遷都1300年祭が行われるすぐ近くの場所です。土平先生の玉稿と、1300年祭基本計画をあわせて読んでいただくと、再来年からはじまる1300年祭にこられる方は、また違ったご興味をもっていただけるものと思います。

代表取締役社長 近東 宏光

# Imagin21

## わたしたちができる環境づくり

自然との共存を図りながら  
限りある資源を大切に使い環境を守っていく  
私たちは時代に役立つ企業であり続けたいと考えます



### 職場風土改革促進事業への取り組み

少子高齢化社会にあって、これからは益々多様な働き方が企業に求められております。一方、働く人は、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をより重要視する中において、企業としてはそれらを必要十分に充足する環境づくりが不可欠であります。

弊社は、平成14年にはISO14001を認証取得、また18年にはプライバシーマークを取得するなど、時代のニーズに合致した経営推進に努力してまいりました。そして、労働時間等設定改善法が施行されて（平成18年）以後、社内では委員会を立ちあげ、有給休暇を取得しやすい環境づくりをめざし、残業が避けて通れない業界にあって、残業時間を少しでも減少する努力なども含め企業理念の中にある「人間生活の向上」に邁進したいと考えております。

人間生活の向上とは、従業員の仕事と家庭の両立を支援することも大きく関係しており、具体的な取り組みは左記の通りです。

### 具体的な取り組み

1. 仕事と家庭が両立できる働きやすい会社作り（ワーク・ライフ・バランスの推進）
2. 育児・介護休暇制度の充実を図る
3. その制度を利用しやすい環境作り
4. 管理職層への研修の実施
5. 両立支援制度の労働者への周知徹底



### ミックス品

FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001747  
© 1996 Forest Stewardship Council



編集 / 制作 / 発行

### 共同精版印刷株式会社

<http://www.kspkk.co.jp/>

本社：〒630-8013 奈良市三條大路2丁目2-6  
TEL 0742-33-1221 FAX 0742-33-7035  
大阪支社：〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目12-3  
TEL 06-6271-7951 FAX 06-6271-7954  
東京支社：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目6-4  
TEL 03-3802-4741 FAX 03-3802-4740



世界遺産

リレー連載

# 奈良の風景

（伊能忠敬がみた大和路の風景）

# 3



「伊能大図」(米国議会図書館蔵)複製版

## 大和路の測量

伊能忠敬といえば、江戸時代に全国各地を測量していたことはよく知られている。忠敬はその測量成果から地図を作成していたが、最終版の日本地図の完成は彼の死後であった。

測量作業は彼一人ではなく、弟子など十数人で行われていた。そのためか「伊能測量隊」「伊能隊」と表現した本もみられる。ここでも「伊能測量隊」とさせていたどころ。「伊能測量隊」は寛政十二(一八〇〇)年から文化十三(一八一六)年までの十七年の間に、

日本全国を十度に分けて測量を行った。その歩行ルートは海岸線に沿っている。測量の目的は、日本の形を正確に把握し、地図に表現することであった。その成果として描かれた日本地図の形は、現在の日本地図と重ね合わせても歪みは少ない。

測量作業は海岸ばかりではない。信濃国や大和国のような内陸部にまでおよんでいる。「伊能測量隊」が大和国を訪れたのは第六次測量時であった。文化五(一八〇八)年一月

二十五日、江戸を出発し、東海道、大坂、淡路島、四国一周の後、再び淡路島、大坂を経由して、大和国に入った。すでに十一月下旬のことであった。詳細なルートや日程がわかるのは、忠敬が日記を残していたからである。膨大な量の日記の原題は、測量年次によつて多少の違いがみられる。

内容の点では第四次までの日記と第五次からの日記に違いがみられる。それは第五次から幕府直轄事業になったことによる。

「伊能測量隊」が大和国内にいたのは、十一月二十八日から十二月二十三までの期間であった。

日記には、月日、天候、一日の開始時刻と終了時刻、測量の際に通過した村名のほか、領主名が記載される。領主名が村ごとに記載されるのは、大和国における領主支配の特徴によるものである。江戸時代を通じて、大和国の領主構成は複雑であった。隣の村の領主が違うという場合も多く、村ごとに領主を塗り分けた地図を描くとモザイク状になる。

「伊能測量隊」が大名の領



法輪寺土塀と三重塔

内に入ると、滞在する宿に藩の役人が挨拶にやってくる。挨拶に訪れた人物名も日記の記載事項であった。

このような日記を読むと、測量のほかに各所を見て廻った記録が書き留められており、測量日誌とは別の意味で実に興味深い。忠敬は大和の何をみて江戸に戻ったのだろうか。

### 斑鳩の里

十一月二十八日、河内国との国境である十三峠を越えて大和国に入った。夜には竜田村に泊まり、翌日には信貴山を往復、王寺の大和川舟公事

まで行き王寺で宿泊している。晦日は当麻村まで南下している。そして、当麻寺に立ち寄っている。奈良盆地の東側は当麻村が南限のようである。

十二月朔日、再び王寺、竜田を経由して昼頃に法隆寺付近に到着して、その日の宿となる百姓平右衛門宅に立ち寄った後、法隆寺を訪れている。日記には「諸堂拝覧、靈宝一見」と記されている。

二日朝、法隆寺を出立し、法輪寺で「本堂十一観音、三重塔」を見た後、近くの法起寺に立ち寄り、「三重塔あり」と記している。忠敬は斑鳩の



里に並ぶ三重塔を見て、どのような印象をもったのであるうか。  
その夜には小泉村で宿泊している。村といえども、片桐氏一万一千石余の陣屋が置かれていた陣屋町であった。宿に到着後、片桐主膳正代官原田弥兵衛という人物が挨拶に来ている。

### 郡山城下

翌三日、小泉村を出立し郡山城下に南西側から入った。郡山は、豊臣秀長が町の基礎をつくり、その後大名が度々



法隆寺遠景

入れ替わったが、享保年間以降は柳沢氏の治世が続いた。大和では大藩十五万石の城下町であった。

城下の柳町三丁目まで測量した後、印杭をおいて矢田村まで再び測量を開始している。矢田村は郡山城下からみて真西の方向に位置する。「矢田村矢田山地蔵堂前迄測る」との記載をみると、矢田丘陵の中腹にある金剛山寺(矢田寺)の地蔵まで測っていたことになる。今、この寺は「あじさい寺」として知られる。「伊能測量隊」はこの寺の付近から奈良盆地一帯を眺めていたのであろう。

再び郡山城下に戻り、三日の夜は柳町三丁目の八木屋九兵衛宅に一泊している。柳町一丁目から同六丁目は、郡山城下のメインストリートであった。その場所にある八木屋は綿問屋で有数の商家であった。到着後、与力衣川常左衛門と面会している。この夜は晴天であったらしく、星の観測をしている。昼夜問わず、測量や面会で忙しい。

翌四日朝、八木屋宅を出立し、柳町二丁目、同一丁目、堺町、本町、鍛冶町、観音寺

町を通って、郡山城下を北へ抜けた。

### 西の京から秋篠へ

このあと、西の京の薬師寺まで測量して、同寺について「諸堂宝物別記」にあり。光明皇后仏足石に万葉歌の真筆碓磯石の仏壇は、世の人の知る所なり」と記している。今は西塔を含む諸堂が再建されているが、忠敬は再建前の薬師寺の姿を見ていた。その後、唐招提寺まで測量している。

さらに、現在の尼ヶ辻、宝来付近へと向かったが、途中、齋音寺村に関する記述について垂仁天皇陵の周濠を「用水池」と表現している。忠敬は、前方後円墳の周濠を農業用水のため池と見間違ったのか。江戸時代、大和各地の古墳の周濠は灌漑用水として使われていた。忠敬は地元の人々からそのことを聞いて日記に記したのか。

菅原村については喜光寺や鎮守天満宮(菅原神社)について特記し、西大寺を経て、秋篠まで達している。ここでは秋篠寺の記述が詳しく、神功皇后、成務天皇の御陵を拝したことも記録している。また、



寛政10(1798)年の柳町三丁目(南側に八木屋の屋敷がみえる)

この日の夜は横領村で宿泊している。この村について、「字尼ヶ辻、此所入会。惣名尼ヶ辻という」と記し、複雑な村の構成と村名についてふれている。翌五日には郡山藩領を



垂仁天皇陵の周濠

出ることになるので、同藩の地方役人二名が忠敬のもとに來ている。三日にも「伊能測量隊」が郡山藩領に入った時にも郷役人二名と地方役人一名がやって來たほか、宿に与力が面會に來ていた。

諸藩の領内に幕府の事業としてやって來る「伊能測量隊」に対して、諸大名は氣遣い、それに忠敬は応じている。大和国の測量では、面會だけでもたいへんなことであつたに違いない。藩は役人を宿に派遣するタイミングをつかむた

めに、「伊能測量隊」の行動をつねに把握しておかねばならない。常に注目されながら測量を続けていた忠敬の精神的な圧迫感はいかほどのものか。

### 南都の測量と参拜

奈良街道を東進し奈良の町へ向かつている。平城宮跡の南側を通過していることになつて、古都についての記述はない。今は史跡に指定され、平城宮の発掘にしたがつて、基壇、さらに朱雀門や東院庭園などが復元されているので、我々がかつての宮城の風景を何となく理解できる。しかし、江戸時代にはこの付近は農地が広がっているだけで農村の一風景に過ぎなかつた。忠敬は日記に一語も書き留めていない。

五日、「伊能測量隊」はいよいよ奈良の町に入つた。日記には「南都」と記している。三条通から入り、榎井町池田屋庄左衛門宅に落ち着いた。到着後、触口町代に測量の計画を説明した後、南都奉行所へ行き測量（の実施）を届け出ている。夜には陰陽師四人が酒樽を持って忠敬を訪問して

いる。

六日、測量行程のなかに記載されている町は、下三条町、上三条町、本子守町、林小路町、角振町、橋本町、餅飯殿町、光明院町、下御門町、北室町、中新屋町、芝新屋町、元興寺町、井上町、中辻町などである。現在、観光スポットとして広く知られるようになった「奈良町」（元興寺の伽藍跡に形成された町）も測

量の対象地であつた。小路が多いこれらの町で測量をするとなると、町人は不審に思つたにちがいない。だからこそ、南都到着後、すぐに触口町代に測量の計画を伝えていたのであろう。

采女社、猿沢池、春日社、東大寺二月堂、大仏殿の前を測量していった。南都滞在は四日間であつたが、滞在中測量ばかりではなかつた。測量



伊能測量隊の軌跡



作業を中断して、東大寺の八幡宮、三月堂、四月堂、鐘楼、大仏、興福寺の食堂、東金堂、五重塔、南円堂、北円堂を廻って参拝し、宝物の見物をした。

### 上街道・桜井へ

九日、いよいよ南都を出立し、奈良盆地の東側を下する行程がはじまった。同日夕方、櫛本村へ到着後、柿本人麻呂の歌塚へ立ち寄って宿に到着している。翌十日は同村を出立し、途中、内山金剛乗院永久寺門前まで測量した後、堂閣を一覧し、布留明神を立ち寄って、再び測量をはじめている。十二日には八井内町(現桜井市)に入り、多武峰の境内(談山神社一帯)を参拝している。十三日は飛鳥方面を測量している。

### 吉野山

「伊能測量隊」はさらに南下を続け、奈良盆地を一旦出



多武峰

ている。十六日には上市村から吉野川を渡っている、日記の記述に「左に妹山、右に瀬山」とあることから、おそらく桜の渡しを北岸から南岸に向けて渡ったのであろう。吉野山では、竹林院、吉水院のほか各所で宝物や庭園を見物している。十七、十八両日は越部村に宿泊している。

### 飛鳥の地で見たもの

十九日には土佐町(高取城下)



今井町

で一泊し、再び飛鳥の地へ。平田村については「此村に文武天皇御陵あり。同村野口村に天武天皇の御陵あり。同村に石にて製する猿の形にたるもの四ツ五ツあり古物なり。又、鬼の雪隠、鬼の真那板という石郭あり」の記述がある。現代の観光ガイドブックにもみられるような記述である。その後、久米寺、今井町(現橿原市)を通って、初瀬で宿泊している。

### 二十五日間で終えた

### 測量と寺社詣

初瀬街道を通過して、十二月二十二日には伊勢国との国境にある髭無村に到着した。

二十五日間の大和路の測量は、寺社詣、宝物などの見物が含まれていた。「伊能測量隊」の軌跡は奈良盆地の外縁を描くようであった。矢田の金剛

山寺などのような比較的高い場所から奈良盆地の底部を俯瞰していたと思われる。しかし、「伊能大図」(米国議会図書館蔵)には、奈良盆地の真ん中に実際にはない山並みが描かれている。

「伊能測量隊」の測量行程は、よく知られる寺社仏閣群を繋ぐルートが設定されていたかのようである。

大和国を出ると、伊勢で年を越し、伊勢内宮・外宮に参拝している。年越しの伊勢滞在は、綿密に練られた作業スケジュールによるものか?その後、東海道筋を経て文化六(一八〇九)年一月十八日に江戸に帰着している。忠敬、六十三歳の測量作業と大和見物であった。

## 土平 博

[つちひら ひろし]

1966年・大阪府生まれ(奈良市在住)

関西大学大学院文学研究科博士後期課程満期修了。

現在、奈良大学文学部地理学科准教授。

専門:歴史地理学(近世)

近世城下町や陣屋町のほか絵図にも関心を持つ。著書『大和を歩く』(奈良地理学会編・奈良新聞社発行)、『広陵町史』、『王寺町史』、『都祁村史』など奈良に関する書に分担執筆。



## 文庫本よもやま話①

文庫本の整理をしていたら戦前の改造文庫が二冊出てきたので紹介しておこう。一冊は田口卯吉という人の『日本開化小史』で布クロス。奥付は昭和四年二月発行となっている。もう一冊は天地のみ八ミリほど大きい紙表紙の森鷗外『伊澤蘭軒』(上)、発行は昭和一五年一〇月で、今となっては貴重な文献資料となっている。

さて、昭和二〇年代の後半には岩波、新潮、角川などの文庫本がみられた。いわゆる文庫本の御三家といつてよいだろう。そのころは、現在のようにカラフルな表紙カバーではなく、薄い硫酸紙(パライン紙)が巻かれてあっただけで、素朴そのものといった感じがした。ただ帯(帯紙あるいは腰巻きともいった)はしてあって、岩波の場合は緑、赤、黄、藍色などがあり、それぞれ日本文学、外国文学、古典文学、社会科学などのジャンル分けをしていたように思う。

話を岩波文庫のみに限定していうならば、この文庫に依怙地なほど入れ上げている人が書いた本がある。それは『岩波文庫の黄帯と緑帯を読む』(九八・三・青弓社)『岩波文庫の赤帯を読む』(九七・八・青弓社)の二冊で、著者は門谷建蔵である。一九四〇年、群馬県の生まれで、東京工業大学を卒業した人であるが、とにかく岩波文庫に対する情熱のかけ方のすごい人で、ちよつと普通の者には真似ができない。岩波書店にとつて、こんな読者がいることはとつても心強い思いがすることであろう。

ところで、この著者も岩波の赤帯を買うために、しばしば古本屋さんに入りに入りにしていることがわかる。たとえば『ゲーテ詩集』を買おうとしてブック・オフへ行つて値段を調べるが、思っていたより高くついている。それで、別の古本屋さんへ行くが、そこにはなかった。そうこうしているうちに日が経ち、ふたたびブック・オフに行くが、そこにはもう本の姿がなかった。本というものは、やはり見た

ときが勝負なのである。つまり「古本と親の仇は見たときが勝負」で、今度はないという教訓である。こんな経験をした人はいくらでもいるわけで、そういうわたしも、たびたび失敗しているのである。

ここらで少し話題を変えてみよう。今ではもう絶版になってしまつて本そのものの姿はめつたに見ないが、昭和二〇年代後半に三笠書房から三笠文庫というのが出ていて、そのなかにすこぶるよい本があった。何しろ給料が安くて、それこそ文庫本しか買えなかったが、そのなかでボードレルの『赤裸の心・火箭』という一冊を求めた。訳者は斎藤磯雄という人で、法政大学の仏文科の教授をしていたと思う。奥付をみると昭和二十七年一月一日第一刷発行となつており、定価は一二〇円であつた。わたしは就職してから三年目であつた。版元の刊行者は竹内富子になっている。この本は一九世紀フランスの詩人シャルル・ボードレルの覚書という短い警句のようなものを集めたものであるが、たとえば「精神によつて創られたものは、物質よりも生気澁刺としている。」とか「芸術とは何か。売春だ。」といったことばに、どれほど驚き興奮したことか。もう一冊ある。それはわが国にもつとも早い時期にフランス文学を紹介した小林秀雄の恩師でもある辰野隆の『信天翁の眼玉』というフランス文学の案内書で、江戸つ子的な語り口がおもしろかった。ちなみに帯紙が挟まっていたのでちよつと紹介するが、赤色帯は翻訳文学一般、緑

色帯は現代文学一般、紫色帯は美術、音楽、映画、芸術一般、藍色帯は哲学、思想その他科学一般となっているが、残念ながらわたしは、紫色帯と赤色帯の二種類しか買わなかつたようだ。この二冊も、今となつてはちよつとした稀覯本になつているかもしれない。

これで終わりかと思つていたら、こんどはゾルゲ事件で有名な二、三年前には映画化になつた尾崎秀実が獄中から家族に宛てた手紙『愛情はふる星のごとく』上・下が出てきた。これも同じ三笠文庫で上巻の発行は昭和二六年一〇月一日(第一刷)定価一〇〇円、下巻は昭和二六年一月三〇日(第一刷)。定価は同じ一〇〇円である。なお、帯の色は藍である。第一信は「拝啓今日始めて発信の許





可を得、嬉しく、かつ取いそぎ用事のみ申上候。」というものである。

つぎに、これも今は絶版になっているが創元文庫の『日本詩人全集』第二巻で、昭和二十七年一二月五月初版発行と奥付にある。編集は笹沢美明と神保光太郎の二人がやっついて、森鷗外、上田敏、横瀬夜雨、伊良子清白、野口米次郎、永井荷風、石川啄木、北原白秋、木下杢太郎、三木露風等その作品が収録され、敏、荷風に至っては訳詩もあって、なかなかの盛り沢山な内容になっている。同じ詩集では角川文庫の『全集・戦後の詩』第一巻、編者は鮎川信夫、大岡信、小海永二の三人になっている。奥付は昭和四八年一二月三〇日、再版発行となっている。定価は二六〇



円。詩集はどちらかというとも早く絶版になるので、できるだけ早く買うべきであるが、気がついたときは遅く、どうしても古本の世話になってしまう。

角川文庫は戦後になってから角川源義がはじめたのだが、詳しくは鎗田清太郎の『角川源義の時代』―角川書店をいかにして興したか―(平成七年一〇月二七月初版発行)を読んでもらいたい。角川文庫ではほかに原口統三の『二〇歳のエチュード』を二冊保存している。古い方は昭和二十七年一〇月一三日再版発行となっている。もう一冊は昭和五二年四月二〇日、改版二三版発行となっている。原口統三は第二の藤村操ともいわれたが、昭和二十一年一〇月二五日深夜、神奈川県逗子海岸にて入水自殺、一九歳一〇か月の生を終えた。戦後に青春を迎えた若者たちにとって、この書はある意味ではバイブルであった。ちなみに、最初のものは七〇円、二冊目は二二〇円になっていた。しかし、歳月も経っているため、どちらも紙質はすっかり赤茶けている。

古本で求めたものの中に柳田国男の『木綿以前の事』というのがある。奥付には昭和三二年一月二〇日、再版発行となっている。定価は一〇〇円である。こうして古い文庫本を振り返ってみると、色々なことが思い出されてくる。昭和三〇年代は電車通勤で大阪へ通っていたので、朝晩の車内で、それも満員電車の中で熱心に文庫本を読みふけていたことが懐かしく記憶に甦ってくる。

ここで創元文庫のことを追記することにする。整理をしていると、ひょっこり『ヴィヨン大遺言書』というフランス中世の泥棒詩人の詩集が出てきたのだ。訳は佐藤輝夫という人で早稲田大学の仏文教授であった。奥付によると昭和二八年一月一五日、初版発行となっている。定価は一〇〇円であった。

昭和二〇年代後半は前述の『赤裸の心・火箭』をはじめ、フランス文学の神髄ともいえるべき著作が、つぎつぎと発行されていたことは特筆するべきであろう。なお、このヴィヨンの詩はその後『ヴィヨン全詩集』として、岩波文庫から鈴木信太郎の訳で発行された。順序からいえば佐藤訳の方が先行本となる。ちなみに、鈴木訳は昭和四〇年五月一六日が第一刷となっており定価は星五つだから五〇〇円であった。

ところで、昭和二八年に『ヴィヨン大遺言書』などという詩集が発行されることじたい、大げさにいえばひとつの事件ということができるかもしれない。ということは、創元文庫の大英断というか、その決断には拍手を送らざるをえない。ついでながらいっておくと、こんどは同じ文庫から『富永太郎詩集』が出た。定価は七〇円。これは昭和二六年一二月三〇日、初版発行で、当時としてはめずらしい詩集の一冊であったと思う。

さて、新潮文庫も戦後において果たした役割は大きいものがある。この文庫ではやはりフランスの詩集をあげたい。まず堀口大学の『ヴェルレーヌ詩集』である。奥付では

昭和二五年一月二五日発行が初版だが、わたしの手持ちのものは昭和四三年三月二九日発行の二五刷である。定価は九〇円。ほかに同じ堀口訳の『グウルモン詩集』がある。昭和二六年七月三一日発行、初版で定価六〇円。それから名前はすでにあげられたボードレルの『悪の華』ももちろん堀口大学の訳。昭和二八年一〇月三一日発行とあるからたぶん初版であろう。定価一三〇円。近代詩人たちにとつてこの詩集はバイブル的存在で、およそこれらの象徴詩の影響を受けなかった詩人はいないといわれている。逆にいえば、いかにこの詩集の影響が強かったかがわかるうというものだ。ほかに堀口大学の『月下の一群』という訳詩集がある。昭和三〇年六月五日の発行、定価一二〇円。現在は残念ながら絶版になっている。(つづく)



## 嘉瀬井 整夫

【かせい ただお】

1934年京都市に生まれる。

1949年より同94年まで印刷産業に従事。  
奈良県立短期大学(現奈良県立大学)卒業。

主著『井伏鱒二私論』

『井伏鱒二とその時代』

『奈良大和路文学散歩』ほか。

文芸評論家。

# 2010 平城遷都 1300年祭 開催

二〇一〇年。日本のはじまりに出会う。

この計画では、一三〇〇年祭の基本的な考え方、事業の構成・規模等を示しており、事業の趣旨は、「平城遷都一三〇〇年を機に、日本の歴史・文化が連続と続いたことを「祝い、感謝する」とともに、「日本のはじまり 奈良」を素材に、過去・現在・未来の日本を「考える。」です。

具体的な事業展開としては、平城宮跡の国営公園化と相まって、恒久・継続、全県・広域型に行います。平城宮跡では、二〇一〇年秋の「平城遷都一三〇〇年記念祝典」開催のほか、基本的に無料・開放型で、往時の再現された施設活用を中心に、歴史文化を体験できる展示や催事等を計画します。県内各地では、二〇一〇年の一年間を通して、「国宝など「本物の魅力」に親しめる周遊型イベント等の展開を図ります。さらに、これらの事業に関連して、県内外の各地において、コンベンション、フォーラム、古京ゆかりの各地等との連携イベントなどの取り組みを進めます。

また、二〇一〇年に向けての事前展開として、歴史文化への関心を高める各種フォーラムを戦略的に開催するほか、学習型・参加型のコンテンツ等により、一三〇〇年祭への理解や共感を求めてまいります。





# 平城遷都1300年祭 実施基本計画

- 会 期 2010年1月1日から12月31日 □規 模 (参集者見込み) 平城宮跡事業で約200万—250万人  
 □会 場 平城宮跡(主会場) 記念イベント全体で約1200万—1300万人  
 奈良県内、関西などの各地 □構 成 ①平城宮跡事業 ③関連広域事業  
 ②県内各地事業 ④事前展開事業

## 1 平城宮跡事業

国営公園化される平城宮跡を主会場に、歴史と文化を楽しく実体験できる展示・イベントを展開。季節ごとに式典やフェアも開催いたします。

- 通期イベント
  - ◆展示施設「平城京歴史館」(仮称)
  - ◆体験型イベント「天平の旅」(仮称)
  - ◆平城宮跡探訪ツアー など
- 2009年12月31日～2010年1月1日
  - ◆平城遷都1300年記念イヤーの始まりを告げるイベント
- 4月下旬～5月上旬
  - ◆大極殿完成式典
  - ◆花と緑のフェア
- 8月中旬～下旬
  - ◆光と灯りのフェア
- 10月上旬～11月中旬
  - ◆平城遷都1300年記念祝典
  - ◆平城京フェア
- 12月31日
  - ◆今後の継続的な展開に向けたイベント



## 2 県内各地事業

年間を通して、歴史と文化に親しむ周遊型イベント等を奈良県内の各地で実施します。

- 通期イベント
  - ◆「奈良歴史探訪回廊」(仮称)
  - 平城宮跡をゲートウェイに奈良県内の国宝など歴史文化資源を探訪できるルートを形成。
    - ・市町村テーマイベント
    - ・歴史探訪ウォーク
    - ・歴史文化を活用した各種スポーツイベント
    - ・各所における歴史文化の展示・展覧 など
- 1月～4月
  - ◆記念イヤーの始まりを告げるイベント
  - ◆シンボルイベント(斑鳩)
  - ◆市町村テーマイベント
- 4月～6月
  - ◆シンボルイベント(飛鳥・藤原)
  - ◆市町村テーマイベント
  - ◆奈良まちおこし結び会
  - ◆特別展覧会「遣唐使展」(仮称)
  - ◆県立万葉文化館特別企画展
- 7月～9月
  - ◆シンボルイベント(吉野)
  - ◆市町村テーマイベント
  - ◆「工房街道アートプロジェクト」(仮称)
  - ◆なら燈花会2010
  - ◆バサラ祭2010
- 10月～12月
  - ◆市町村テーマイベント
  - ◆正倉院展
  - ◆全国都市緑化フェア
  - ◆特別展覧会「国際書法交流日本大展」(仮称)
  - ◆県立万葉文化館特別展
  - ◆県立美術館特別企画展
  - ◆平成万葉・千人一首完成記念イベント
  - ◆今後の継続的な展開に向けたイベント

## 3 関連広域事業

日本の歴史をテーマに関西および全国各地と連携のイベントを企画します。

- 10月～11月
  - ◆「平城京賢人会議」(仮称)
  - ◆コンベンションの開催・APEC観光大臣会合
    - ・世界宗教者平和会議(四十周年記念式典)
    - ・世界歴史都市会議 など

## 4 事前展開事業

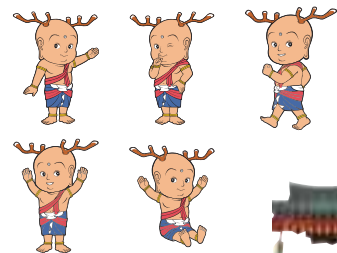
プレイイベントを開催して奈良の歴史と文化への関心を高め、2010年に向けてのピーアールを行います。

- ◆「奈良の‘都’フォーラム」(仮称)
- ◆プレイイベント等
  - ・500日前イベント、250日前イベント、100日前イベント
  - ・平城遷都1300年祭応援団の結団式
- ◆各種メディア、社寺との連携
- ◆効果的な誘客の促進
- ◆「奈良2010年塾」を核とする文化ボランティアの育成

### いろんなポーズをした「せんとくん」を紹介します

「平城遷都1300年祭」のマスコットキャラクターは、この地で育まれてきたエネルギーの化身として現代に姿を現しました。その容姿は、奈良の守り神として多くの人々に親しまれている鹿の角をたくわえた愛嬌のある童子のようないでたちです。

悠久の歴史の中で奈良の地を守り育ててきた仁王さまや阿修羅、十二神将、四天王などの使命を受け継ぎ、現代と未来を結ぶ新しいキャラクターです。これからは、来るべき2010年の祝祭に向けて私たちとともに暮らし、まちのあちらこちらに出没して、訪れる人々を古都のさまざまな魅力に誘うとともに、みんなで手を携えて奈良の新たな歴史を築いていく役割を担います。



### Address

平城遷都1300年記念事業協会事務局  
 〒630-8113 奈良市法蓮町757番地 奈良県法蓮庁舎  
 TEL:0742-23-2010 FAX:0742-27-5805  
 ホームページ <http://www.1300.jp/>



平城遷都  
1300年祭

世界の多くの人々を招き入れる温かい掌(たなごころ)、“Welcome Hand”。

この掌は同時に、文明を伝えた手、異文化を受け入れる手、数々の建造物や国宝を造り出した先人たちの手。文化交流の象徴である唐草模様と様々な私たちの「施無畏印」(せむいん)がモチーフ。



⑤石龍駅前⑥石龍駅前で客引きをしている単車のタクシー⑦石龍駅前のタクシー乗り場⑧石龍駅近辺の町並



共同精版印刷香港有限公司深圳事務所がこのビル  
の19階にあります

⑨石龍駅から惠州市方面に行く道路  
⑩塘夏のバス⑪樟木頭⑫樟木頭と  
塘夏の往復バス⑬石龍から塘夏へつ  
ながる道路⑭塘夏のタクシー

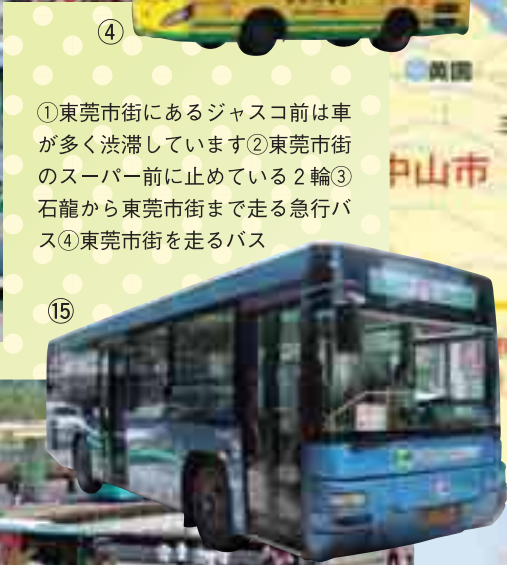


# 深圳・東莞周辺

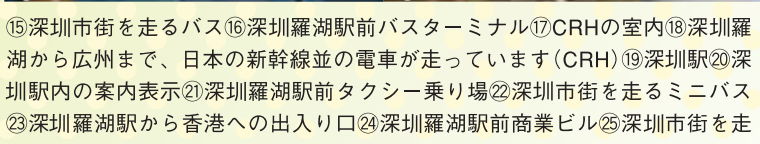
平成18年第13号(春号)では香港の交通について取り上げました。今回は香港の隣の深圳・東莞エリアの交通模様を紹介します。

広東省東莞市は自家用車も普及していますが、二輪、タクシー、バス、が多く市民の足になっています。

東莞市の石龍駅付近では、運賃の安い二輪バイクのタクシーが多く見受けられます。また、深圳市羅湖駅から東莞市を抜けて広州市まで時速約200kmで走る電車も有り深圳から広州まで約1時間で、運賃は90元です。



①東莞市街にあるジャスコ前は車が多く渋滞しています②東莞市街のスーパー前に止めている2輪③石龍から東莞市街まで走る急行バス④東莞市街を走るバス



⑤深圳市街を走るバス⑥深圳羅湖駅前バスターミナル⑦CRHの室内⑧深圳羅湖から広州まで、日本の新幹線並の電車が走っています(CRH)⑨深圳駅⑩深圳駅内の案内表示⑪深圳羅湖駅前タクシー乗り場⑫深圳市街を走るミニバス⑬深圳羅湖駅から香港への出入り口⑭深圳羅湖駅前商業ビル⑮深圳市街を走るタクシー

⑯⑰⑱⑲



## 喜多酒造 株式会社

## 大和の酒蔵めぐり

畝傍山・香具山・耳成山の大和三山に囲まれた橿原。今回は橿原神宮のお膝元に位置します喜多酒造様を訪れました。



喜多酒造様は享保三（二七一八）年に創業されました。かつて西は二上、葛城の山あいを縫って河内に通じる大阪への道、東は桜井・初瀬を経て遠く伊賀、伊勢への道、南は吉野、宇智から紀州への道、という交通の分岐点としてにぎわった橿原。その橿原を代表する酒蔵です。

そんな人々にぎわう場所でも、喜多酒造の創業者、酒屋利兵衛はお生まれになりました。

がんこ一徹の気質から、米と水を選びすぎり、自分の納得のいく酒ができるまで、酒屋として旗揚げをしなかつたと伝えられています。

この、創業者の「こだわりの酒づくり」という姿勢を受け継ぎ、常に時代を意識した、より良い酒をつくり続けておられます。

訪問させて頂いたのは夏。暖簾をくぐるとすばらしい庭が目に飛び込んできました。

仕込みの終わったこの時期、ゆっくりと蔵を見学させて頂きました。中心の蔵の2階には昔使っていた木製の樽や大桶等々、歴史を感じさせる道具が残されておりました。



吟醸蔵では、空の樽が置いてありきれいに掃除されていました。それでも麴の甘い香りが漂っていました。

専務取締役の喜多様にお話を伺いました。

「商品に対する愛情・より良いものを作ろうという前向きな気持ちで酒造りに臨んでいます。環境の変化があってもそれに対応し、一番よいものを作ろうという姿勢が大切です。昨今は、酒造りの重要な工程を簡素化した方法が見られますが、それでは美味しいお酒はできません。基本に忠実で手を抜かず、味を守っていききたい。」とこだわりを語って下さいました。

味はもちろんですが、ラベルやデザインといった外観にも気を配っておられます。女性やビギナー向けに開発された「初恋」のラベルは奈良芸術短期大学の学生さんの公募により決まりました。また、喜多酒造創業者のお名前を商品名にした「利兵衛」は2006年からグッドデザイン「優秀賞」も受賞されております。

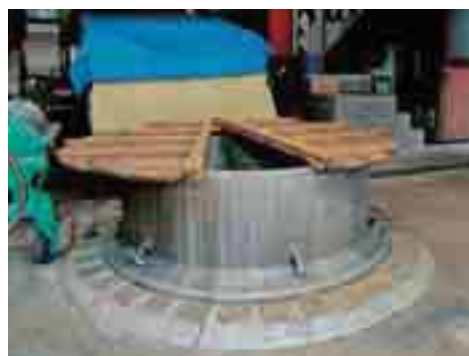




「吟醸蔵」として個別に設けられています。



米を蒸すために使われる大金です。



## 酒蔵貝学



貴重な木製の大桶が今も大切に保管されています。



浮ひょうと呼ばれる、お酒の比重を測る計器です。アルコールなどを調べます。

# こだわりの お酒

こだわりの



### ●御代菊〔本醸造〕

喜多酒造様三百年におよぶ伝統の味。ほどよい旨味が冴えるお燗酒がおおすすめです。



### ●大和の香り〔吟醸〕

ほどよい甘みとキレのよい軽快な口あたり。飲むほどに楽しいお酒です。



### ●白檜〔大吟醸〕

果実を彷彿とさせる豊かな香りが特徴。やさしい甘味を含み透明感のある味わいに仕上げられています。



### ●利兵衛〔純米吟醸〕

酵母の力を活かしたアルコール度二十%の純米原酒。上質な酸味、重厚で奥行きのある味わいが特徴です。名前は創業者にちなんでいます。



### ●初恋〔純米〕

きめ細かな微発泡の低アルコール純米酒。カシユアルで、さわやかな甘さが楽しめます。



## 喜多酒造 株式会社

〒634-0062 奈良県橿原市御坊町8番地  
TEL 0744-22-2419(代) FAX 0744-25-3588  
<http://web1.kcn.jp/miyokiku1718/>



# 古楽面

— 美術工芸中の坊 —

人の心を古にいざなう古楽面  
神秘という言葉では表現しきれない美  
そこに棲む喜怒哀楽は、  
人の心を捉えてやまない



らんりょうおう  
蘭陵王

日本の古楽面は、七世紀はじめ推古天皇の頃に仏教と共に仏教美術の一つとして伝わった。最初に伎楽と共に「伎楽面」が伝わり、のちに、雅楽の「舞楽面」：大衆に功德と法悦を与えるための行事に用いる「行道面」が伝来してきた。その後、能楽や狂言が発生し数多くの面が伝えられ生み出され、その古楽面の多くが奈良の社寺や

正倉院などに残されている。

その歴史ある古楽面の神秘と、製造にまつわる職人の心を、「美術工芸中の坊」の中坊竜堂氏にお話を伺いました。「面には自身惹かれるものがあり、それが魅力となっている。面作りは楽しい反面、苦しい。なぜなら、新作と違い、本物と似せなくてはいけないから」と中坊氏は話されています。

古楽面は、作るというプロセス以上に似せる為の情報収集が重要となってくる。具体的には、専門書（古楽面が掲載された古書）に頼るものが多いが、専門書だけで形状を把握出来ない場合は、実際に社寺へ足を運び、スケッチして細部の情報を得る。平面情報を得るのであれば、これ程情報が氾濫した現代においては、安易



おきな  
翁



かるら  
迦楼羅



いっかくせんじん  
一角仙人



なことではあるのだが、立体においては、側面・背面に至る、平面では表現しきれない部位を探らなくてはいけないので、非常に困難なことである。実物を持ち帰ることができないケースが殆どなので、幾度となく足を運び、スケッチしては、製作していくという気の遠くなる話だ。また、面が経年劣化により破損し欠落している部位は、資料収集し想像して破損部を埋めるという。

それらの苦悩を乗り越える中で、中坊氏を苦しめたのは、仏像づくりだそう。当初は面作りではなかったが、断ったそうだが、お寺さんが中坊氏の作品に惚れ込んで頼んだものである。自信はなかったそうだが、中坊氏が作るものが欲しいと言われ着手したそう。それを手掛けることによって、自信にも繋がったと中坊氏は話されました。その他にも、同氏は、書にも興味を示しており、習いに行きその成果を面を納める箱にも表現している。

同氏は、六〇歳までは、樹脂で作る面ばかりを手掛けていたそう。しかし、木で作る面にこころ奪われ、その夢を実現する為に、六〇歳になってから、木彫りを習いに行った。現在は木彫りの面を彫る楽しみに没頭し、出展三回目にして福井県「能面の祭典」にて受賞し、六六歳の時に「なら工芸館」において四〇点もの多くの作品を展示するという個展を開かれた。

中坊氏の面の神祕は、面という物に対し、幾多の製作アプローチと面に魂を込めるといふプロセスが、現在の中坊氏の神秘的な面作りを支えているのだと確信した。



じどう  
慈童



かわず  
河津



まごじろう  
孫次郎



でいじゃ  
泥蛇

### 樹脂の古楽面製作工程

- ①ヘラで粘土の原型を作ります。制作期間は物によって異なりますが、すべての基本形となるため1カ月以上要する場合があります。
- ②粘土原型に石膏液をかけ「離型」を作ります。
- ③離型に「離型液」をすき間なく塗り、液が乾いたら「石膏」を流し込みます。石膏が固まれば離型を壊し、「石膏原型」を取り出し、さらに石膏原型を修正します。
- ④石膏原型を修正した後、筆でシリコン液を塗り重ね、シリコンラバーの凹型を作ります（型の完成）。次の工程からがよいよ面を作る作業となります。
- ⑤型に樹脂液（樹脂液にタルク、タンカル、木粉等を混ぜたもの）を2〜3回塗ります。その上にクロス張り込みますが、布が浮き上がらないようにヘラで押さえながら樹脂液を塗っていきます。約20分（常温時）で固まるので、硬化したら2回目の布を貼ります。大きな作品ほど、この行程が多く繰り返されます。
- ⑥固まった型からはずし、サンドペーパーで細部を修正。次が最終工程の彩色となります。
- ⑦彩色は、胡粉と化学のりを乳鉢ですったものを最低3回塗っては1度ペーパーをかける作業を5回程繰り返して「下地」を作ります。
- ⑧「上塗り」は胡粉に朱を少し混ぜ刷毛を立て、そのうち古色をつけ、最後に目・口・鼻・眉毛を描きます（能面の場合）。

### 木彫りの面の製作工程

- ①木取
- ②荒彫
- ③小作
- ④彩色
- ⑤仕上げ
- ⑥完成品

### 古楽面の分類

- ①伎楽面 仏教と共に伝わった仏教の仮面劇に使用される面
- ②行道面 寺院で仏教会式での練供養に使用される面
- ③舞楽面 神社での神事の奉納舞で使用される面
- ④能面 田楽や猿楽から派生し、喜劇の狂言に対し莊重、優美な歌舞劇に使用される面
- ⑤狂言面 田楽や猿楽から派生した寸劇的な喜劇を狂言と云い、能の間に演じられ使用される面
- ⑥仏面 仏像の半面。もともとこの分類はなく、近世になってから土産物などから派生した面

### なかぼうりゅうどう 中坊竜堂 氏

奈良市鹿野園町518-6 在住  
(Tel・Fax 0742-62-8072)

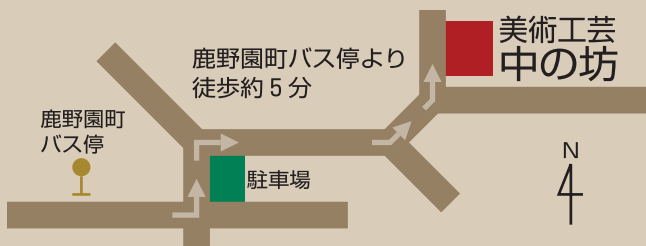
■美術工芸 中の坊 URL  
<http://www.nara-cci.or.jp/nakanobou/index.html>

#### Profile

- 1940年 奈良市に生まれる
- 1960年 奈良県立奈良高等学校卒業
- 1960年 虎谷美術工芸社 入社
- 1971年 同上退社
- 1971年 美術工芸 中の坊 創設
- 2008年 現在に至る

#### ■主な活動 (1971~2008年)

日本橋三越、近鉄東京店、東武池袋店、横浜そごう、広島そごう、高島屋他で「グループ展」を開催。また、「仮面展」「伎楽面一具展」等の個展も多数開催。



ふれあい回廊  
夢しるべ 風しるべ

奈良の新しいスタイル、奈良のブランドづくりへ

## なら・食と生活文化の発信

奈良には、遠い昔と同じにおいの風が、吹いているような気がします。

いにしえの人々の想いが、果てしない時空を超えて、運ばれてくるかのようです。

そんな風が、ふれあい回廊で、出会う人々の、互いの「しるべ」となって、私たちの新しい夢を導いてくれますように…。

今年3月20日にオープンして以来、なら・食と生活文化の発信”のコンセプトを基に、新たな観光スポットとして地元の人も含め、観光客も楽しませている「ふれあい回廊 夢しるべ 風しるべ」。

12店の店舗が並ぶ大型飲食施設は、奈良の観光振興に大きく貢献している。

春日大社へ続く登大路沿いにあり、東大寺・氷室神社・奈良国立博物館が隣接し、東には若草山や御蓋山を眺めることができる絶好のロケーション。

駐車場も完備しており、当施設で2,000円以上の買い物をしたら2時間まで駐車が無料になる。お昼を楽しんで、残りの時間で周りの施設を観光するというのも1つの楽しみ方となっている。

尾田組の旧本社跡地であり、旧本社棟を中心に、元からあった低層の木造建築で構成され、情緒あふれる落ち着いた昔ながらの建物が並び、古都のならを体感でき、回廊と呼ぶにふさわしい建築である。また個性あふれる店舗が軒を揃え、個々の魅力を最大限に活かしている。

また同施設では、様々なイベントがあり、その中でも毎夏通例となっている、「なら燈花会」、こ

のイベントに合わせて、「夢風トワイライト」と題し、各店舗前では、夕刻からろうそくを灯火。燈花会をさらに盛り上げている。また当施設のレストラン サリーレ奈良では燈花会特別メニューコースを用意し、燈花会に華を添える。

7月には、奈良出身でピアノ弾き語りのシンガーソングライター森岡万貴さんを招いての、コンサートを開催し、大盛況を収める等、イベントも盛り沢山。

また、同施設内にある、シルクロードの終着駅に併設されている「夢風ホール」を、貸し出しスペースとし、展示会・演奏会にも使用できるイベントとのコラボレーションによって奈良を彩る。

同施設ホームページでは、「ふれあい回廊」のイベントや周辺施設・寺院の催しや歳時記を定期的に更新されていて、今後の展開にも注目していきたい。

なら・食と生活文化の発信”の基に奈良の土地柄にあった、自然体の「ふれあい回廊 夢しるべ 風しるべ」を運営する企画力が、この施設の最大の魅力であり、最大の成功の要因であろう。

文化の情報発信基地として今後とも目の離せない場所になった。



旬果萬葉  
**A** 天平庵

和菓子&和カフェ「旬果萬葉 天平庵」:「朝焼きみかさ 大和山」でおなじみの和菓子の店「天平庵」。厳選した奈良の素材を使ったお味は、2階カフェでもお楽しみいただけます。●OPEN/1F:10:00~19:00/2F:11:00~18:30 (LO/18:00) ●TEL/0742-25-5525 ●年中無休



お好み焼き  
**B1** 鶴橋 風月

お好み焼き「鶴橋風月」:こだわりの大阪の味で、全国的に知られる「風月」。創業60年、変わらぬ老舗の味をお楽しみください。(17時以降ご予約承ります。) ●OPEN/11:00~22:00 (LO/21:00) ●TEL/0742-25-2288 ●年中無休

**B2** 心齋橋 味穂

たこ焼き「心齋橋味穂」:外はカリカリ、中はとろーりの、粉にこだわったたこ焼きです。ソース味、醤油味からお選びください。●OPEN/11:00~18:00 (夏時間:11:00~20:00 LO/19:30) ●TEL/0742-25-3338 ●年中無休

**C** わらべ喜庵

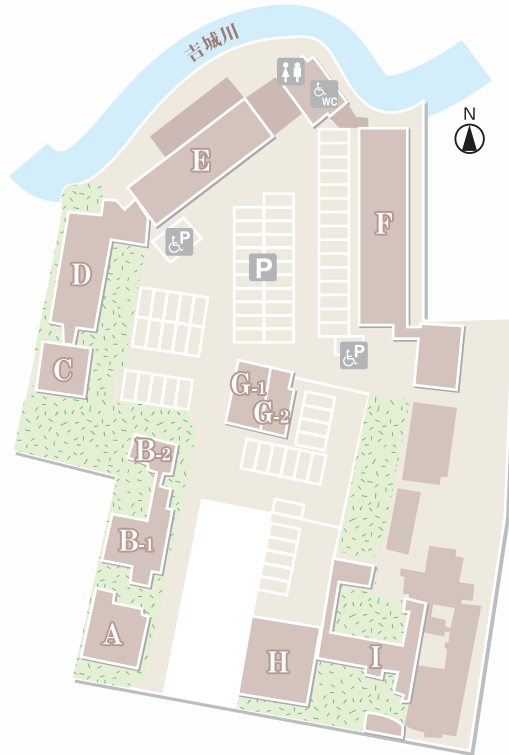
おそば「わらべ喜庵」:大阪北新地の老舗「喜庵」の手打ちそばと奈良の季節ご飯がいただけます。●OPEN/11:00~21:00 (LO/20:30) ●CLOSE/16:00~18:00 (土・日・祝を除く) ●TEL/0742-24-1882 ●定休日/毎週火曜(祝日の時は翌日、振り替え休日)

**D1F** 黒川木家

茶房・お食事&葛の和洋スイーツ「吉野本葛黒川木家」:創業1615年に遡る吉野本葛の老舗、黒川木家。葛のスイーツや奈良の素材を生かした料理を提供します。●OPEN/11:00~20:00 (LO/19:00) ●TEL/0742-20-0610 ●定休日/第2・4水曜(祝日の時は翌日、振り替え休日)

**D2F** 志まつ Shimazu

四季の料理と葛料理「志まつ」:丹念に選んだ食材と磨き抜かれた味へのこだわり。心くつろぐひととき共にぜひ、ごゆっくりご賞味ください。●OPEN/11:00~21:00 (LO/20:00) ●TEL/0742-20-0608 ●定休日/第2・4水曜(祝日の時は翌日、振り替え休日)



**E** Ban-INOUE

麻と大和カフェ「幡・INOUE」:一つ一つ手織りの麻を中心とした「奈良が育んだ伝統文化や素材」をいかにスタイリング提案型ショップ。●OPEN/ショップ:10:00~19:00/レストラン:10:00~20:00 (LO/18:30 季節により変わります) ●TEL/0742-27-1010 ●年中無休

**F** シルクロードの終着駅

鉄道ジオラマビューフェ&バー「シルクロードの終着駅」:Nゲージ14線、H0ゲージ6線が運転できる西日本最大級の鉄道ジオラマ。大人も子供も夢中になりそう。●OPEN/10:00~22:00 (LO/21:00) ●TEL/0742-25-0231 ●年中無休

**G1** 大和百葉

奈良の生鮮野菜・果物と物産「産地直送大和百葉」:地元生産農家と直接提携して作った安心で安全な野菜や食品を販売します。産地直送だから新鮮で美味しくリーズナブル。●OPEN/9:30~19:00 ●TEL/0742-20-2071 ●年中無休

奈良銘酒処  
**G2** ももたろう

奈良厳選地酒販売「ももたろう」:日本酒発祥地・奈良の美味しい地酒や焼酎、こだわりの特産品を取り揃えたお店。「ももたろう」が自分で採った無添加で美味しいものだけを紹介・販売します。●OPEN/9:30~19:00 ●TEL/0742-26-8736 ●年中無休

**H** ぬざさ IZASA

奈良の名産寿司販売とお食事処「ぬざさ」:柿の葉寿司、みざさ寿司はお土産にもおすすめ。奈良奥吉野から熊野にいたる、歴史の道が育んだ食の文化です。●OPEN/1F:9:30~19:00/2F:11:00~20:00 (LO/19:00) ●TEL/売店:0742-22-8133/レストラン:0742-94-7133 ●レストランのみ定休/月曜(祝除く)

**I** Salire 奈良

イタリア料理「レストランサリレ奈良」:歴史ある武家屋敷を改装した、優雅でゆとりのある空間で、本格イタリアンがいただけます。●OPEN/ランチ:11:00~16:00 (LO/15:00) /ディナー:17:30~22:00 (LO/20:30) ●TEL/0742-20-5088 ●定休日/毎週月曜(祝日の時は翌日、振り替え休日)

ふれあい回廊「夢るべ 風るべ」 INFOMATION

- 名称 ふれあい回廊 「夢るべ 風るべ」
  - 施設開場時間 9:00~22:30
  - 開業日 2008年3月20日(木・祝)
  - 定休日 各店により異なります。
  - 所在地 奈良市春日野町16番地
  - ホームページ http://www.yume-kaze.com/
  - 敷地面積 約2400坪\*
  - 総店舗数 12店舗
- \*各区分の合計  
■事業主・施工:株式会社 尾田組



ACCESS

- 交通/近鉄「奈良駅」下車、東へ徒歩15分
- バス利用/近鉄「奈良駅」または、JR「奈良駅」から奈良交通バスで市内循環外回り(2系統)「氷室神社・国立博物館」停留所下車、徒歩1分



送迎自動車が運行しています



●夜間送迎バス

毎夜17:50~20:30(約30分間隔・月曜運休)  
夢風~JR~近鉄~県庁前~夢風  
送り専用:21:00~22:10





# アウトライン形式

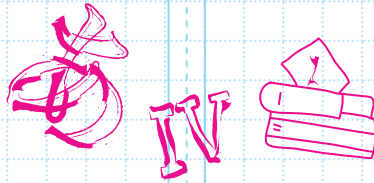
## TrueTypeフォント

Windows、Macintosh共通で利用できることを想定したフォント。Linuxでも利用可能。

MacOSXでも、そのままWindows用TrueTypeを扱うことが出来る。2次Bスプライン曲線で字形を制御する。ビットマップフォントを内蔵できる。TrueTypeフォントをPostScriptプリンタで処理するための形式をType42という。

## PostScriptフォント

Macintoshで普及し使われるフォントで、三次ベジェ曲線で字形を制御する。



## OpenTypeフォント

Windows、Macintoshでの互換性を実現したフォントで、TrueTypeとPostscriptの2つの形式を持つ。CIDよりも強力な異体字切り替え機能や、フォントレベルでのダイナミックダウンロード対応(=プリンタフォントが不要)などが特徴。PostScriptのタイプ別で言うと、Type 2(データサイズを抑えることのできる形式)にあたる。

## Type1フォント

1バイト言語用のフォントで、256文字まで格納できる。

一般にType 1と呼ばれていても、実際にはType 3や5のものなどがあるので注意が必要。詳しくはPostScriptフォントを参照。

## WIFEフォント

Windows上で日本語などの2バイトフォントを扱うための機構の1つである、WIFE(Windows Intelligent Font Environment)の仕様に基づいて作られたフォント。Windowsにはラスタイザは付属せず、サードパーティー各社から発売されたラスタイザを入手する必要があった。また、各ラスタイザ間の互換性はなく、それぞれのラスタイザに対応するフォントしか使用できなかった。Windows3.0時代に普及したが、Windows3.1で標準装備されたTrueTypeの普及などにより、次第に利用されなくなった。

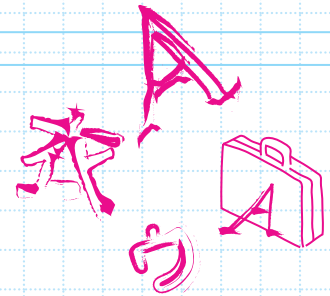
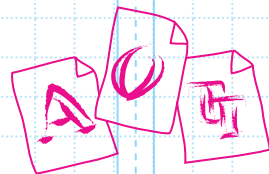
## OCFフォント

2バイト言語用のフォントで、Type 1フォントを多数積み重ねた構造をしている。

PostScriptのタイプ別で言うと、Type 0(Type 1や3を組み合わせた形式)にあたる。

## CIDフォント

OCFフォントを改良し、CIDコードとCマップなど、2バイト言語用に簡素化した構造を採用したフォント。異体字切り替え機能を有する。一部仕様が変わった拡張CID(sfntCID)という規格もあり、モリサワのNewCIDフォントはこれにあたる。PostScriptのタイプ別で言うと、Type 9にあたるものが多い。(TrueTypeベースのCIDフォントなどは例外)



# VISTAのフォント環境

マイクロソフトでは、従来JIS第1および第2水準漢字(JIS X 0208に規定されている6,355文字)をベースとしたShiftJISの漢字に加え、1998年にはJIS補助漢字(JIS X 0212に規定されている5,801文字)を加えた12,156文字の漢字を標準フォントとして組み込むなど、最新の日本語情報処理規格に基づいて文字の拡張を継続的に行って来ました。Windows VistaならびにWindows Server 2008では、これまでと同様に日本文化に根ざした情報化社会の実現を支援するため、国の国語施策および法令に整合する最新のJIS漢字「JIS2004」に対応した日本語フォントを搭載しています。

Windows VistaならびにWindows Server 2008に標準搭載される全ての日本語OpenTypeフォント、「MSゴシック3書体(MSゴシック、MSPゴシック、MS UI Gothic)」、「MS明朝2書体(MS明朝、MSP明朝)」および「メイリオ」がJIS2004対応となります。

なお、JIS2004対応に伴い、一部の漢字が正字に修正されていますので、ご注意ください。

## 新日本語ClearTypeフォント「メイリオ」について

今回新たにWindows Vistaの標準搭載日本語フォントとして、「メイリオ」フォントを開発いたしました。このフォントは、ClearTypeテクノロジーの効果を最大限に利用することにより、特に画面上での日本語の文章の可読性を画期的に向上させるべく、全く新たにデザインされたものです。メイリオは本文用レギュラーと見出し用ボールドそれぞれで専用のアウトラインデータをもつフォントで、画面上で見ても印刷しても極めて明瞭で読みやすく、広い用途に適した新世代のサンセリフ系(角ゴシック)フォントです。また、単独の欧文フォントとしても、優美なスタイルを持ち、和文と欧文とを違和感なく調和させて組むことができる点が特徴です。

[http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp\\_font/default.mspx](http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx)より抜粋

メイリオという、書体名は「明瞭」が訛ったものかもしれませんが、その書体の字体までも訛ってしまいました。漢字122字について、Windows Vista用の新フォント「メイリオ」だけではなく、「MSゴシック」「MSPゴシック」「MU UI Gothic」「MS明朝」「MSP明朝」にも施されました。それはたとえば次のようなものです(右がVistaで採用された文字の字体)。

和辻哲郎	↔	和辻哲郎
芦ノ湖	↔	芦ノ湖
逢坂山	↔	逢坂山
榊原温泉	↔	榊原温泉
葛飾区	↔	葛飾区
祇園	↔	祇園

このことは決して小さな問題ではありません。同じ文字コードで字体が変わってしまうことになるのですが、そのデータのみを見た人は、それがどの字体の文字を書き手が選択したのかを知る手がかりがない状態です。

たとえば、ある人は従来のWindows XPを使って文書をつくり、ある人はWindows Vistaを使って文書をつくります。標準で搭載されている文字種の範囲で文書をつくらば、上述の122文字種についてこの二つの文書の間には字体の異同が生じることになります。しかし、その文書を他の人が受け取って自分の使っているパソコンで処理した場合、書き手の意図に関わらず、表示・出力される字体は受け取った側の環境によって決まってしまう。



紙ができて

命が吹き込まれる

KYODO SEIHAN PRINTING  
**KSP**



私たちは、平城遷都1300年  
記念事業を応援しています。



ミックス品  
FSC認証林及び管理された  
森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001747  
© 1996 Forest Stewardship Council

本誌は、「FSCミックス認証紙」を使用しています。

